

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：東 智徳

事業名	よこはまかくら かじがや 横浜 鎌倉 線（鍛冶ヶ谷地区）	事業区分	街路	事業主体	横浜市
起終点	よこはましこうなんくこうなんたいきゅうちようめ 自：横浜市港南区 港南台 九丁目 よこはましさかえくかじがやいちちようめ 至：横浜市 栄区 鍛冶ヶ谷一丁目	延長	0.9 km		
事業概要	本路線は、3環状10放射道路の一つで、市中心部と南部地域を連絡する主要な放射道路であり、現在、1.3kmで事業中で、その他の区間については、既に完成しております。				
S63年度事業化	S21年度都市計画決定 (H9年度変更)	S63年度用地着手	H4年度工事着手		
全体事業費	6.2億円	事業進捗率	75%	供用済延長	0 km
計画交通量	35,700台/日				
費用便益分析結果	B/C (事業全体)3.6 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /78億円 〔事業費：/77.0億円 維持管理費：/0.9億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) /277億円 〔走行時間短縮便益：/257.5億円 走行費用減少便益：/9.2億円 交通事故減少便益：/10.0億円〕	基準年	平成15年
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） ・国土・地域（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる）等 				
関係する地方公共団体等の意見	事業継続並びに整備の促進を要望します。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	渋滞緩和、交通利便性、市民の安全性の向上のために、道路ネットワークの形成の重要性が高まっています。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成14年度までに約87%の用地を取得しております。現道拡幅型事業のため、現在の交通を確保しながら、引き続き工事を進めます。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地取得も進み、環状3号線側の工事着手の見通しも立っており、平成16年度末に完成の予定です。				
施設の構造や工法の変更等	特になし				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	本市中心部と南部地域を連絡する幹線道路として重要な路線であり、当地区を含む1.3km以外は既に供用しており、事業目的を達成させるため、早期の事業完了を図る必要性は変わりません。				
事業概要図	<p>The map illustrates the project's location within a road network. A solid line represents the '横浜鎌倉線（鍛冶ヶ谷地区）' (Yokohama Kamakura Line, Kaji-gaya area) with a length of 940m. It is situated between Ring Road No. 3 (環状3号線) to the north and Ring Road No. 4 (環状4号線) to the south. The JR Root Line (JR根岸線) runs parallel to the project, and Honkai Station (本郷台駅) is located to the west. The map uses various line styles to distinguish between existing roads and the project area.</p>				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。